

2022年（令和4年）1月－3月の主な組合活動報告

（日本パウダーコーティング協同組合活動報告）

- 1) 第105回理事会 1月20日 リモートにて実施 理事10名、監事 1名

☆ 議事録は4月12日の第106回理事会議事録と共にこのあとのページにて掲載。

- 2) 「パウダーコーティング」誌2022年新年号発行 1月24日付

☆ パウダー協ホームページに2015年夏季号以降掲載 含めて

【情報誌】

- * 巻頭言 年頭のご挨拶
一社) 国際工業塗装高度化推進会議 (IPCO) 理事長 坂井 秀也氏
- * シリーズ 持続可能な社会の実現を目指すSDGs
(3) 塗料・塗装産業分野における取組みとは 奴間 伸茂氏
- * トピックス 粉じん爆発の最新防護技術と最近の動向
BS&B セイフティ・システムズ株式会社 那須 貴司氏
- * トピックス ABA資格認定制度 工場塗装管理技術者について
ABA 専務理事 (株)マルシン 代表取締役社長 近藤 旭氏
- * 海外情報 ベトナム・ホーチミンから 戸崎産業株式会社 取締役 戸崎 勇人氏

【組合誌】

- * パウダー協よりの新年のご挨拶
 - * 2021年（令和3年）10-12月の主な組合活動報告
 - * 名古屋支部研修会報告 * 製品紹介 4社
 - * 組合トピックス 戸崎産業(株)における外務省 JAPAN SDGs Action Platform 取得報告
- ◇ パウダー誌はパウダー協ホームページにアップしております。

<http://www.powder-coating.or.jp/> パウダー協ホームページ

<http://www.powder-coating.or.jp/pc/> パウダーコーティング誌

- 3) 粉体塗装研究会セミナー

2022年第1回目 2月15日（火） リモートにて実施

参加連絡は31社から慈善連絡有り。また、年間会員の皆様にはリモートのアドレスを事前送付対応をした。

1. 筒井工業株式会社 代表取締役社長 前島 靖浩氏 90分

〔前島氏は日本パウダーコーティング協同組合副理事長、アルミニウム合金材料工場塗装工業会(ABA)理事〕

- ① 同社のご紹介と取組について
- ② ツツイ式T-CXについて 同社コンサルティング事業部 コミュニケーションセミナー (LABプリファイル®&コーティング) 他

2. 塗料塗装技術研究所 代表 奴間 伸茂氏 90分

【元 一社) 日本塗料工業会常務理事、現 一社) 国際工業塗装高度化推進会議 (IPCO)

アドバイザー】

パウダーコーティング誌2021年夏季号、秋季号、2022年新年号に向けて現在注目されていますSDGsについてこれまでのご経験も踏まえて寄稿いただきました。今回はその集大成としてご講演いただいた。

4) 粉体塗装技術要覧第5版編集会議及び発刊

- ① 2022年に入ってもリモート及びメールにての対応で編集を実施。
- ② 1月末に塗料報知新聞社より発刊。編集委員会を解散。

尚、パウダー協会員及び粉体塗装研究会年会員の皆様には1冊/1社配布を実施。

5) クオリコート委員会定例会議 3月2日〔(一社)軽金属製品協会及びリモート開催〕

6) IPCCO〔国際工業塗装高度化推進会議〕理事会、合同部会他

- ① 1月25日： 理事会（塗料報知新聞社会場及びリモート開催）
- ② 2月16日： 合同部会（塗料報知新聞社会場及びリモート開催）

7) 関係団体・関係会社等の総会・セミナー等

- ① 1月18日 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
可燃性液体用静電ハンドガンスプレー装置に関する技術指針委員会にリモート参加(第3回目会合) アドバイザーとして2回目委員会より参画。
3月にその安全要求事項および試験方法としてまとめられ冊子が発行された。
- ② 3月9日 アルミニウム合金材料工場塗装工業会(ABA) 総会 リモート
- ③ 3月11日 全国中小企業団体中央会 組合活性化オンラインセミナー リモート

(新会員・会員・関係先転居関係)

(会員会社)

- 1. ㈲岡塗装 2022年3月入会届受理 4月12日の第106回理事会にて承認手続きを実施し、承認されました。

場 所： 広島県 呉市 天応西条2-13-2

代表者、ご担当者： 代表取締役 田岡 豊氏

- 2. 旭サナック㈱ 東京支店移転 1月10日より

東京都千代田区岩本町2丁目18-3 NBS岩本町ビル7F

TEL: 03-5846-9675 FAX: 03-5846-9685

- 3. ㈱中央ネームプレート製作所(北海道支部)

- ① 氏家 界平氏が代表取締役社長から会長に就任されました。
- ② 新社長は氏家 利道氏です。

(4月以降の主な今後の予定)

- 1. 4月7日(木) パウダー協会計監査 近藤監事 パウダー協事務所にて
⇒ 4/7に監査を実施し、いくつかの指摘をいただき修正致しました。

2. 4月12日(火) 第106回理事会 リモート開催
⇒ 4/12実施致しました。この後の議事録を参照ください。
3. 4月22日(金) パウダー誌春季号発刊
4. 5月18日(水) パウダー協第26回総会 メルパルク東京にて実施予定

(東京都環境局「Clear Sky サポーター」)

2019年9月に登録して2年半経過しました。粉体塗装は目的に合致した塗装方法だと考えて登録したものです。(VOC削減)

会員の中では、関西ペイント㈱(東京事業所)、関西ペイント販売㈱、㈱三王、大日本塗料㈱、中国塗料㈱、ロックペイント㈱様が登録されています。関係団体等では一社)日本塗料工業会、一社)国際工業塗装高度化推進会議(IPCO)、坂井技術士事務所様です。東京都に事業所をお持ちの法人及び東京都にお住まいの個人の方々は登録できますのでどうぞ!

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/air/air_pollution/torikumi/clearsky/index.html

登録者一覧

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/air/air_pollution/torikumi/clearsky/clear_sky.html

Clear Sky サポーターロゴ



支給のトートバッグ



☆ パウダーコーティング誌のバックナンバーについては2022年新年号までの分をパウダー協ホームページのパウダーコーティング誌タブにアップしております。

☆ パウダー協ホームページの関連データにつきまして

数年前まで掲載してました海外データにつきましては、入手困難や入手できても掲載不可のケースが多いことから、経済産業省から出される統計データを当組合(事務局)なりにまとめたものを中心に今後は掲載することに致しました。

5月中には他のホームページの改定を含めてアップして参ります。

以上、パウダー協事務局より

2022年(令和4年)2月4日

第105回 理事会議事録

(リモートにより実施・Zoom使用)

日本パウダーコーティング協同組合
福田 良介

- (1) 召集年月日 : 2022年(令和4年)1月11日
- (2) 開催日時及び場所 : 2022年(令和4年)2月1日(火) 午後1時10分—午後2時30分
「リモートにて実施・Zoom使用」
- (3) 理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその出席方法:
理事の数15名 監事の数2名
出席理事の数 15名の内 10名本人出席(オンラインにて)、
出席監事の数 2名の内 1名本人出席(オンラインにて)
- (4) 議長の氏名 : 渡邊 忠彦
- (5) 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名 : 福田 良介
- (6) 議事経過の要領及びその結果 :

第105回理事会はコロナオミクロン株による第6波の真ただ中のため今回もリモートにて実施。
承認事項、報告事項に関しては特に異議はございませんでした。

(議事内容)

(1) 承認事項

1) 組合員、賛助会員入退会について

- ① 2021年9月-2022年1月は入退会無し。
- ② 賛助会員 (株)桂精機製作所 ⇒ (株)ヒートエナジーテック 横浜市港北区新羽町964-21
10月1日付で同社熱設備事業部の分社化によるもの 登録変更 報告のみ
- ③ 2022年1月 (有)田岡塗装(広島県呉市)より協同精機様経由で資料等の請求が有り、1月25日に一式送付(1月24日発行のパウダー誌含めて)。今後、事務局にて対応することを報告。

☆ 2022年1月27日現在会員数 組合員 50社 賛助会員 23社(+1社 休会中)

(2) 報告事項

1) 第26期 9月 - 1月活動報告

- ・ 第104回理事会(9月3日 リモートにて実施)
- ・ パウダー誌発行(WEB版)(秋季号 10月22日、新年号 1月24日) 会員全員に印刷して配布
- ・ パウダー誌編集委員会(10月12日 大井町きゅりあんにて)
- ・ 粉体塗装研究会セミナー(11月9日に2021-4を実施 リモート) 次回は2月15日 リモートにて
参加者 申込人数 37名(各事業所で数名参加されても1でカウント) 年間会員向けには毎回ビデオを送付。
- ・ 粉体塗装技術要覧第5版の編集(発刊は(株)塗料報知新聞社) 2021年度の活動として実施。開始は2021年5月。
編集委員長 : 河合先生 編集委員 : 佐川氏(関西ペイント(株))、野村氏(日本ペイント・インダストリアルコーティングス(株))、柳田氏(旭サナック(株))、壺岐氏(日鉄防食(株))、吉田氏(日本パーカライズン(株))、竹内先生(茨城大学名誉教授、研究会会長)
幹事 塗料報知新聞社 有馬社長、藤井氏、パウダー協 福田
① コロナ禍ではあるが適宜編集委員会を実施(会合形式及びリモートにて)

- ② 発刊は11月を予定していたが、コロナ禍によりリモートでの活動が主となり、遅れを生じて2022年1月末の発刊となった。
- ③ パウダー協会向けに1冊/1社 贈呈、合わせて粉体塗装研究会年間会員向けに1冊/1社 贈呈。関係団体への贈呈もあり、贈呈は合計120冊ほどとなる。
- ・ JAPCA News 216(9月号) - 221(1月号) 毎月月初め発行
 コロナ禍によりニュース項目が多いことから各月2-3回の事前送付版等を配信。
 ⇒ コロナで会員各位との交流が薄くなることからパウダー誌の印刷送付含めて極力配信回数を増やしています。

2) 対外活動

- ・ IPCO(国際工業塗装高度化推進会議)理事会 (10月20日、12月16日、1月25日 リモート、ハイブリッド方式にて実施され参加) 高橋理事、福田
- ・ クオリコート委員会定例会議 (11月4日 ハイブリッド方式)
- ・ 塗料産業 夢・ロードマップ2046 塗料報知新聞社、都産研、IPCO, CEMA, パウダー協
 9月15日 初回ワーキンググループ会議 都産研にて 高橋大理事、福田出席
- ・ 労働安全衛生総合研究所「可燃性液体塗料用静電ハンドスプレー装置の安全要求事項および試験方法」のアドバイザーとして第2回目より参画(10月27日、1月18日) 福田
- ・ コーティングジャパンでの講演参加(12月9日 CEMA⇒IPCO枠の中で) 粉体関係は福田が講演
- ・ 中央会振興部主催の「全国団体向け研修」に参加(12月17日 補助金関係)
- ・ 関係団体における総会や賀詞交歓会はコロナ禍により全部中止となった。

(3) 第26期予算と1月27日現在の実績

資料 1 : 第26期予算と1月27日現在実績及び今期見込みを報告

(4) その他

1) 支部催し報告

- ・ 名古屋支部 : 11月26日 支部年末研修会
 12月7日 名古屋支部交流会
 名古屋市工業研究所における取組みにも参画
- ・ 東京支部 : 11月17日 支部幹事会
 1月20日に支部会の開催を計画するもコロナ禍で中止に。
- ・ 大阪支部 : 11月9日 支部役員会 大阪ガーデンパレス

- 2) 粉体塗装研究会 : セミナーは2021年度6月の2021-3, 11月の2021-4, をリモートにて実施。
 2022年2月の2022-1セミナーは2月15日にリモートにて実施する。〔2021年4月の2021-2セミナー及び2021年度工場見学会は中止、尚、2021-1セミナー(2021年2月)は対面式で実施〕
 (配布資料 資料2 粉体塗装研究会2021年度決算 研究会は1-12月決算)

⇒ ここまでの報告事項については一括して福田より説明。参加者から特に異議なし。

次に、関係団体からのご報告をいただいた。(当組合役員の方々に他の関係団体の役員をされておられる方々より)

- 3) IPCO [高橋(大)理事], ABA (近藤監事), 日塗商・青年部(社本理事)より概況等。
 IPCO : ① 12月のコーティングジャパンでの講演(IPCOについて 高橋大氏、粉体塗装に関して 福田)
 ② 溶剤塗装に関する安全ポスターを作成(A2版) ⇒ 当組合でも1社1枚は配布。希望者は申告後配布。パウダー協事務局でもニュース等でアナウンスする。
 ③ 2022年5月のコーティングジャパンでの講演 ⇒ 大阪支部にて講演いただくことで基本進める。資料は事務局作成も可) 長谷川副理事長に調整依頼

(高橋大理事より)

- ABA : ① 11/8 SDGs勉強会を実施。
② ABA認定資格制度 — 工場塗装管理技術者 について
パウダー誌新年号に掲載
③ 建築再生展等に展示参加をしていく予定。

(近藤監事より)

- 日塗商 : ① 引き続き粉体塗装研究会セミナーに日塗商青年部として参加。

(社本理事より)

次に、参加者の方々より現状報告をいただいた。

- ・ リン酸不足、価格高騰 ⇒ 化成処理剤の価格アップ
ジルコニウム処理への変換が進むのでは ⇒ 川下における認定が必要であるため中々進まないのも実情。
- ・ 塗料用原材料、特に輸入原料の価格高騰で塗料価格もアップ。販売店含めての値上げ交渉が大変な状況。
- ・ 半導体不足が自動車業界等の生産量に大きく影響。生産量が落ちると塗料の使用量も減るので塗料・塗装業界としても影響が大きい。自動車業界では大きな値引きをしなくても販売できることから利益としては良好の様である。
- ・ 筒井工業㈱におけるコンサルティング事業に関して ⇒ 2/15の研究会セミナーの中で講演する。
- ・ 組合及び研究会会計において各種催しができないことから大きく余剰金が出るようならば賦課金や研究会会費を下げることも考える。 ⇒ コロナ禍が落ち着いた後に検討
但し、組合関係は結構固定費が決まっていること及び研究会からの委託料もセミナー中止等で減少している。4月の決算理事会にて2021年度の報告を行う。

社本理事より ⇒ 組合におけるデジタル化は！

- ① 前任の鈴木氏よりデータはハードディスク保管されている。(紙媒体は極力少なく)
 - 1) ネット対応のハードディスクにて通常管理 PCの中は必要最低限のみ(作成中等)
一度、ネット対応のハードディスクが急に故障して使用できなくなった。外付けハードディスクにバックアップしていたので故障前数日程度の分は消えたがPC内やメール保管分などでほぼ回復。それ以降バックアップ用として2個用意している。
 - 2) JAPCA News はホームページにもアップしている。また、パウダー誌は2015年夏季以降ホームページにアップ。本来印刷送付は行わないことで対応していたが、コロナで会員各位との意思疎通が薄くなることからこの時期のみ会員分印刷して送付している。
(パウダー誌発行1回で 6000-8000枚プリンター印刷)
 - 3) PCの安全性 : 使用しているソフト及び外付け機器を説明。

次回理事会は！

4月上旬(3月に入ったら事務局にて日程調整依頼を出します)
近藤監事には監査依頼。

以上

2022年(令和4年)4月12日

第106回 理事会 議事録

(リモートにより実施・Zoom使用)

- (1) 召集年月日 : 2022年(令和4年)3月23日
(2) 開催日時及び場所 : 2022年(令和4年)4月12日(火) 午後1時10分—午後3時00分
「リモートにて実施・Zoom使用」
(3) 理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその出席方法:
理事の数15名 監事の数2名
出席理事の数 15名の内 9名本人出席(オンラインにて)、(別途委任状 4名)
出席監事の数 2名の内 1名本人出席(オンラインにて)
(4) 議長の氏名 : 渡邊 忠彦
(5) 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名 : 福田 良介
(6) 議事経過の要領及びその結果 :

第106回理事会は3月21日のまん延防止解除後もコロナは引き続き高止まりの状況であったことからリモートにて実施。

(議事内容)

(1) 承認事項

1) 組員、賛助会員入退会について

① 2022年1月-2022年3月 入会申し込み1件

企業名 : (有)田岡塗装
受付日 : 2022年3月17日付(3月22日郵送受理)
代表者名 : 田岡 豊氏(代表取締役)
ご担当 : 同上
住所 : 〒737-0883 広島県 呉市 天応西条2-13-2
業務形態 : 塗装業

⇒ 審議の結果、全会一致で承認

☆ 2022年3月31日現在会員数 組員 50社 賛助会員 23社(1社休会中)
〔(有)田岡塗装様承認後 組員 51社〕

(2) 報告事項

1) 第26期1月-3月活動報告

- 2022年賀詞交歓会 : コロナ禍により中止
- 第105回理事会(1月20日)リモートにて実施 理事10名、監事 1名
- パウダー誌発行(WEB版)(1月24日 会員全員に印刷して配布)
- 粉体塗装研究会2022-1セミナー(2月15日) 年間会員向けには毎回ビデオを送付。
- 粉体塗装技術要覧第5版の編集(発刊は(株)塗料報知新聞社) 2021年度の活動として実施。
2022年1月末に塗料報知新聞社より発刊。会員に1冊ずつ配布。
別途、粉体塗装研究会年間会員向けに1冊ずつ配布(研究会会計処理)
- I PCO(国際工業塗装高度化推進会議)理事会(1月25日、2月16日)
- クオリコート委員会(3月2日)
- 安衛研 技術指針委員会にアドバイザーとして参画(1月18日) 委員長 崔部長
「可燃性液体塗料用静電ハンドガンスプレイ装置の安全要求事項および試験方法」
2022年3月発刊 100冊入手 順次配布する。

＊次回は粉体塗装ガンで同様の委員会を作ることから話があったもの。

- ・ ABA総会（ 3月 9日）定期総会 リモート参加
- ・ 中央会主催 組合活性化オンラインセミナー（ 3月 11日） リモート
⇒ 以上の報告事項に関しては特にご意見はございませんでした。

（3）第26期事業報告書(案)についての審議

第27期事業計画書(案)についての審議

福田より内容報告。

本日の第106回理事会内容を踏まえて修正後、理事会メンバーに送付確認いただき、4月末までに変更・修正等あれば連絡を事務局まで出していただくことにした。

（第106回理事会部分報告事項、㈲田岡塗装様承認など）

⇒ （3）、（4）共に提出された資料については審議の結果、全会一致で承認されました。

（4）出席者の方々より現状報告他

1) IPCO

- ・ 5月12日 コーティングジャパンでの講演 IPCO枠の中でパウダー協として講演
当日2番目の講演 20分 (株)大瀧商店 大瀧社長 20分 福田もしくは片山理事
- ・ 4月21日 合同部会 パウダー協の中でも案内状を回付

2) ABA報告

- ・ 1－3月報告。(総会等)
- ・ 今期は建築再生展などの展示会に出展を計画。(参考 建築再生展 6月15-17日 東京ビッグサイト)

3) 出席者皆様の現状報告

- ・ 塗料用・表面処理用原材料、特に輸入原料の価格高騰で塗料等価格アップ。
販売店含めて値上げ交渉が大変な状況。(多数の方)
- ・ 自動車業界の生産量の増減による影響が大きい。(少し良い時期もあったが、ここに来てまた半導体不足などで良くない状況が続いている)

以上

社内取組「戸崎産業グリーンプロジェクト (TPG)」として再編
(戸崎産業㈱様より)

戸崎産業㈱様では環境対策対応の取組として以前よりSDGs宣言を行っておられましたが、この度、社内取組「戸崎産業グリーンプロジェクト (TPG)」として再編されました。

新規取組として、(下記は、戸崎産業㈱戸崎社長様からいただいた内容です)

- ① GXリーグの賛同企業として登録されました。(全登録社数440社)

[GXリーグ設立準備公式WEBサイト \(gx-league.go.jp\)](https://gx-league.go.jp)

賛同企業名の製造業の中に弊社名が掲載されました。

GXリーグとは！ 上記アドレスより。

「グリーントランスフォーメーション」の略。

2050年カーボンニュートラルや、2030年の国としての温室効果ガス排出削減目標の達成に向けた取組を経済の成長の機会と捉え、排出削減と産業競争力の向上の実現に向けて、「**経済社会システム全体の変革**」がGXです。

1. GXリーグはGX企業が産官学と協働する場

2050年カーボンニュートラル実現と社会変革を見据えて、GXへの挑戦を行い、現在および未来社会における持続的な成長実現を目指す企業が同様の取組を行う企業群を官・学と共に協働する場が、GXリーグです。

2. GXリーグが目指すもの

GXへの挑戦を行う企業が、排出量削減に貢献しつつ、外部から正しく評価され成長でき社会(経済と環境および社会の好循環)を目指します。

3. GXリーグのコンセプトは「リーダーシップ」

GXリーグが目指す好循環には多くの企業による自発的・能動的な未来社会への行動、「GXへのリーダーシップ」が必要です。

GXリーグは、リーダーシップを持って2050年のあるべき社会をリードする未来企業の集合体を目指します。

パウダー協では賛助会員企業の「AGC(株)」様、粉体塗装研究会では「ダイキン工業(株)」及び「DIC(株)」様が全登録社数440社に入っております。

- ② 大阪万博・共創チャレンジに登録されました。

[TEAM EXPO 2025 | CHALLENGE](#) (4月7日 登録で弊社・社章が写っております)

[戸崎産業！工業塗装で取り組むSDGsプロジェクト|TEAM EXPO 2025 | CHALLENGE](#)

この、共創チャレンジですが「工業塗装で取り組むSDGsプロジェクト」という題名にて特にVOC削減にをテーマに粉体塗装の推奨を進める内容で取組の展開として弊社だけでなく全国の工業塗装関係等、塗装に係る皆さんと一緒に環境配慮に取組みたいという思いを持った内容です。

この共創チャレンジを通じて大阪万博から我々、工業塗装業界のSDGs取組みや環境配慮型塗装の推進を広く世界に発信できる場となればと思っております。

参考：2025年日本国際博覧会協会事務局より 登録申請後に届いた内容

ご登録いただくにあたりまして、「TEAM EXPO 2025」プログラムについて、簡単にご紹介させていただきます。別添のPDF資料も参照いただければと思いますが、様々な企業や団体などの皆様が取り組まれている、または取り組もうとされている、未来社会に向けた「具体的なアクション」を「共創チャレンジ」として登録いただき、その共創チャレンジを支援したり、皆様の「共創」を促進する存在になっただけの企業や団体様に「共創パートナー」に登録いただいています。TEAM EXPOでは、大阪・関西万博とその先に向けた「共創の促進」を目的としておりますので、広く世界に発信し、共感を得て広げていきたい取り組みをご登録いただきたいと思います。以上を踏まえまして、申請いただいた内容について、以下ご確認をお願いいたします。●共創チャレンジ内容について 環境にやさしいクリーンで安全な塗装を広めることが、御社の共創チャレンジ内容かと理解したのですが、合ってますでしょうか。

最後に、登録スケジュールにつきましてご連絡させていただきます。こちらの事務処理上の都合で恐縮なのですが、申請いただいた共創チャレンジ・共創パートナーについては、月次で登録手続き処理をさせていただいております。月の半ばごろに一旦受付を締め切り、その月の月末付けで登録、翌月頭にHPで公開という流れとしております。御社の申請につきましては、3月分の登録として進めさせていただければと存じます。3月半ばまでに登録内容が固まり、問題なく進みましたら、4月頭にHPで公開させていただけるかと思います

戸崎産業！工業塗装で取り組むSDGsプロジェクト|TEAM EXPO 2025 | CHALLENGE

今後もGXリーグ、大阪万博を通じてのSDGsの取組みを戸崎産業様等を通じて発信して参りたいと考えています。(パウダー協事務局)

会員企業の中での取組みの参考になればと事務局として考えております。

下記は戸崎産業様のSDGs宣言です。



☆ 上記アドレスは下線部分の名前でグーグル検索するか、パウダー協ホームページのパウダーコーティング誌タブから2022春季号を開いてクリックください。

大阪・関西万博 「TEAM EXPO 2025」 プログラムについて

2021年9月版

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会



（参考）2025年日本国際博覧会 基礎データ



©2025年日本国際博覧会協会

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

3

2. 「TEAM EXPO 2025」プログラム 参画方法

- 「TEAM EXPO 2025」プログラムへは、「共創チャレンジ」または「共創パートナー」として参画することができます。

共創チャレンジ：自らが強く未来の実現に向けた1つ1つのアクション
大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、
自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしている活動



共創パートナー

：複数の共創チャレンジを創出・支援する法人・団体
自らのリソースを提供して共創チャレンジを生み出し、
また、自らが創出した共創チャレンジや他の共創チャレンジ
を支援する法人・団体等のごと

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

6

みんながつくるワクワクが、きっと未来の社会にかわる

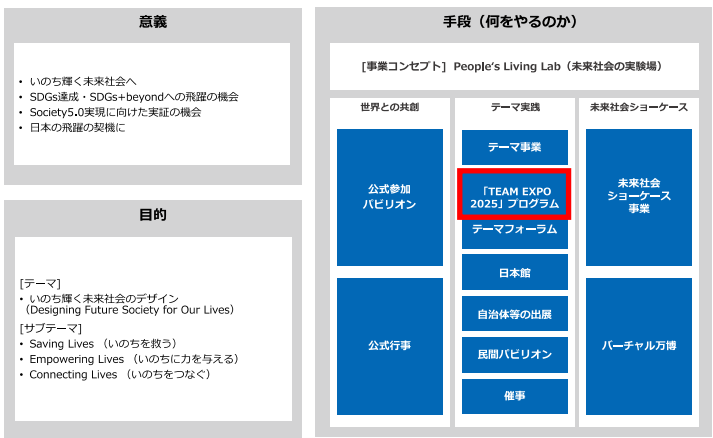
ワクワクはまだ見えないことに、胸がさわいで心がおどること。
それはいのちを輝かせるためのエネルギー。
ワクワクした人たちが、ワクワクすることを実現していくために共創する。
多彩なチームと活動で万博とその先の未来に挑む、
みんながつくる参加型プログラムです。



©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

1

（参考）2025年日本国際博覧会 基礎データ



～2025年日本国際博覧会 基本計画より～

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

4

3. 「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジ

- 共創チャレンジとは、自らが描く未来の実現に向けた具体的な活動です

万博のテーマ実現のため、SDGsの達成に貢献するため、
皆様が「ワクワク」しながら進めている活動についてチーム単位で登録してください。分野は問いません。
個人グループの活動（2人以上）、企業・団体のプロジェクト等の単位でも登録できます。
できるだけ組織を超えて多様な立場・価値観の人によるチームで取組を進めてください。
活動はこれから進めるものでも、今既に取り組んでいるものでも構いません。

登録にあたっては、
・目指したい未来社会はどんなものか＝未来への宣言
・その実現のために今、何をするか（しているか）
・未来に向けてどんな人たちと共創を進めたいか
など、チャレンジとしての取り組み内容を教えてください。

※共創チャレンジはいくつでも登録できます。（活動ごとの登録が可能）
※登録に費用はかかりませんが、申請手続きや共創チャレンジの活動に必要な経費は、各チームにご負担いただきます。
（当協会から補助金等の支給はありません）

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

7

（参考）2025年日本国際博覧会 基礎データ

開催概要		夢洲（ゆめしま）
名 称	2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）	 大阪市内の臨海部に位置する人工島であり、 来場者は瀬戸内海の実景に接すること ができる。世界とつながる海と空に囲ま れた万博として、ロケーションを生かした 企画や発信を行っていく。
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン	
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）	
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）	
会 場	夢洲（ゆめしま）（大阪市臨海部）	
開催期間	2025年4月13日（日曜日）～10月13日（月曜日）	
来場者数（想定）	約2,820万人	
©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.		～2025年日本国際博覧会 基本計画より～

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

2

1. 「TEAM EXPO 2025」プログラムとは

大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、
SDGsの達成に貢献するために、国内外において多様な参加者が主体となり、
理想とする未来社会を共に創り上げていくことを目指すプログラムです。

企業、教育・学術・研究機関（大学・研究所等）、国・政府関係機関（独立行政法人等）、
国際機関、自治体、NGO、NPO法人、各種団体などを対象としたものです。
また、大きな資本を持たなくても挑戦できるプログラムです。

2025年には、本プログラムから生み出された活動や輝く人を
大阪・関西万博会場などで紹介し、世界へ発信していきます。

「参加型万博」を体現するとともに、新たな「万博の主人公」を生み出していきます。

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

5

3. 「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジ

共創チャレンジの活動例

SDGsの達成やSociety5.0 の実現に向けた活動	未来の産業創出に向けた 活動	ライフサイエンスやヘルス ケアに関する将来的な 社会実装に向けた活動	自然環境の維持・向上を 通じ、持続可能な社会を 構築する活動
文化や芸術、エンターテイン メントに関する 創造的な活動	教育や人材交流など 次世代を担う人材育成に 関する活動	人々の行動変容に繋がる 情報発信に関する活動	大阪・関西万博のテーマや 意義など、本万博の内容 周知に繋がる情報発信に 関する活動

※これらの活動はあくまで一例であり、これらに限らず様々な活動の登録をお待ちしています。

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

4. 「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナー

TEAM
EXPO
2025

- 共創パートナーとは、複数の共創チャレンジを創出・支援する法人・団体です。

共創パートナーは、様々な活動を通じ、当プログラムにおける共創を促進する存在です。

共創パートナーの活動内容は、当協会との協議の上で決定します。

共創パートナーは、**法人・団体単位**での登録をお願いします。

活動はこれから進めるものでも、**今既に取り組んでいるものでも構いません。**

共創パートナーは、

- ・ **自らのリソースを提供して共創チャレンジを生み出す活動**
- ・ **自らが創出した共創チャレンジや他の共創チャレンジを支援する活動**

上記2つの活動を基本としながら、他の共創パートナーとも連携して、「TEAM EXPO 2025」プログラムを盛り上げ、一緒に「TEAM EXPO 2025」プログラムを育てていただきたいと思います。

※共創パートナーとしての取組とは別に、**自らが取り組む個々の活動を共創チャレンジとして登録することも可能**です。
※登録に費用はかかりませんが、申請手続きや共創チャレンジの活動に必要な経費は、各チームにご負担いただきます。
(当協会から補助金等の支給はありません)

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

9

5. 当協会から提供するもの

TEAM
EXPO
2025

交流や発表の機会の提供

オンライン・リアル・ハイブリッドにより、

- ・ 共創チャレンジや共創パートナーの活動を発信するイベントの開催
- ・ プログラム参画者同士の交流機会の提供

を行います。

これらの活動は、大阪・関西万博の公式ウェブサイト等において、適宜、情報発信します。

※協会が主催するものに加えて、共創パートナーが企画・実施する発表/交流等のイベントも開催されています。

※TEAM EXPO 2025公式ウェブサイトを見て、登録しているチーム・団体へ個別に連絡を取ることができます。



©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

12

最後に

TEAM
EXPO
2025

お問い合わせ先
公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
TEAM EXPO 2025事務局
te2025-info@expo2025.or.jp

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

15

4. 「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナー

TEAM
EXPO
2025

共創パートナーの活動例



※これらの活動はあくまで一例であり、これらに限らず様々な活動の登録をお待ちしています。

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

10

6. ベストプラクティス展示エリアにおける成果の発信

TEAM
EXPO
2025

ベストプラクティス展示エリア等における成果の発信

- ・ 様々な活動のうち、実践的で世界各地で再生可能な、将来のために活用できる特に優れた取組については「**ベストプラクティス**」として位置付け、会場内に設けたベストプラクティス展示エリアで展示・展開を予定
- ・ 期間を区切った入れ替わりの展示や会場内のほかの場所での展示・催事との連携等、ベストプラクティスをはじめとしたより多くの優れた活動を来場者に披露できる仕組みを検討
- ・ 会場内だけでなく、会場外の大阪・関西広域エリア等のイベントやオンライン上においても、ベストプラクティスを中心に「TEAM EXPO 2025」プログラムの優れた活動を広く紹介・発信していく



©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

13

5. 当協会から提供するもの

TEAM
EXPO
2025

- 当協会では、様々な活動が広く発信され、共創が生まれるような仕掛けをつくっていきます。

TEAM EXPO 2025 公式ウェブサイトにおける情報発信

- ・ 共創チャレンジや共創パートナーの登録内容を掲載
- ・ 活動の進捗状況やイベントの告知などを随時発信可能

※商用・資金調達目的での内容を除きます



<https://team.expo2025.or.jp/>

当プログラム専用のロゴマークの使用権

- ・ 共創チャレンジ、共創パートナーとして参画し活動していることの証としてロゴマークを使用可能

※ロゴマーク使用については、使用届出書の提出が必要となります
※商用・資金調達目的での使用を除きます



その他パターン例

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

11

7. 2025年に向けたスケジュール（予定）

TEAM
EXPO
2025

- TEAM EXPO 2025は2025年、またその先の未来に向けて、成長し続けるプログラムです

会期前				会期中	会期後
～2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年～
多様な取組みの参加・共創の推進 国内の展開強化・グローバル展開推進				大阪・関西万博を 未来共創の聖地に	SDGs+beyondに 向けた未来づくり
未来に向けてチャレンジをする多様な事業者の参加促進 (共創チャレンジ、共創パートナーの登録)				万博会場内の ベストプラクティス 展示エリアや会場外、オンラインなど 様々な空間との連携 において、本プログラムの活動をPR・紹介	種々の取組みを レガシーとして継承 “万博からできた、 万博からはじまった”
テーマフォーラム等、各種イベントの開催による共創推進					
Webサイト等デジタルプラットフォームにおける発信による認知拡大					

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

14

見るだけじゃない、あなたが主人公になる万博がはじまります。

表紙解説

表紙絵画：小島輝夫

表紙写真

「春の競演」

春になると、住まいの近辺では春を競うように様々な花が咲き誇る。海軍広場と「海軍道路」脇の農業台地では、花桃の源平咲きが満開の桜並木と春を競い合っていた。春満開のワンシーンでした。なお海軍広場は5年後には国際花博覧会の会場となります。

パウダーコーティング

ISSN 1346-6739

2022年4月25日 Vol.22 No.2

発行所：日本パウダーコーティング協同組合(JAPCA)

東京都港区芝 5-31-16 YCC ビル 9F

TEL: 03-3451-8555 FAX: 03-3451-9155

URL: <http://www.powder-coating.or.jp>

制作：パウダーコーティング誌 制作部

©2022 日本パウダーコーティング協同組合

本誌に記載されたすべての記事内容について、日本パウダーコーティング協同組合の許可なく転載・複写することを禁じる。

パウダーコーティング ISSN 1346-6739
二〇二二年四月二十五日 Vol.22 No.2
定価 二〇〇〇円

発行：日本パウダーコーティング協同組合 (JAPCA)
東京都港区芝五・三・一六 YCC ｼﾙ
制作：パウダーコーティング誌制作部